

蛋白質研究所セミナー  
生体系 NMR における技術革新

日時: 2004 年 11 月 19 日(金) 10:00- 20 日(土) 12:40

場所: 大阪大学蛋白質研究所(吹田市山田丘3-2)

11 月 19 日(金)

10:00 所長挨拶 阿久津秀雄(阪大蛋白研)

世話人挨拶 甲斐荘正恒(都立大院理)

10:10 区分標識法を用いた高分子量蛋白質のドメイン構造解析 阿久津秀雄(阪大蛋白研)

膜蛋白質研究のための溶液 NMR 技術の開発 - サンプル調製から測定

まで - 児島長次郎(奈良先端大院バイオサイエンス)

NMR による膜蛋白質 - リガンド相互作用解析 嶋田一夫(東大院薬)

12:10 昼食

13:30 PISEMA Experiments for Biological Solids

A. Ramamoorthy(Univ. Michigan)

生体超分子構造解析のための固体 NMR 法 藤原敏道(阪大蛋白研)

NMR の高感度化 寺尾武彦(京大院理)

15:30 休憩

15:50 高分子量蛋白質の NMR 解析法の動向 伊藤 隆(理研・生体超分子協力G)

SAIL 法による高分子量蛋白質の立体構造解析 甲斐荘正恒(都立大院理)

無細胞タンパク質合成技術に応用した新規計測技術の開発

森田勇人(愛媛大総合支援センター)

18:00 懇親会

11 月 20 日(土)

9:00 細胞と蛋白質の機能を計測する *in vivo* NMR 白川昌宏(横浜市大院総合理)

NMR による蛋白質構造揺らぎの可視化は可能か? 赤坂一之(近大生物理工)

複製、組み換え及びテロメア伸長における DNA の 4 重鎖構造とそれをアンフォール

ドするタンパク質の意義 片平正人(横浜国大院環境情報)

11:00 休憩

11:20 ミトコンドリアへの標的シグナルを構造の観点から解読する

神田大輔(九大生体防御研)

カルシウムシグナリングに重要な蛋白質相互作用の構造解析

伊倉光彦(Univ. Toronto)

討論 小林祐次(阪大院薬)、内藤 晶(横浜国大院工)

世話人 甲斐荘正恒(都立大院理)、阿久津秀雄(阪大蛋白研)